

令和6年度

大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちようカレッジ」報告書



まちづくり の たね



いちよう
カレッジ
OSAKA CITY

まちの魅力を知りたい。まちの課題を解決したい。自分のできるコトからはじめたい。
「いちようカレッジ」は、そんな人と、これからの「まちづくり」をいっしょに考えます。

今年度のいちょうカレッジ参加者

全 **13** コース のべ約 **1,500** 人



いちょう
カレッジ

OSAKA CITY

「いちょうカレッジ」とは

誰もが安心でき、住み続けたいまちをめざして

それぞれがまちの「課題」をもち寄り、まちづくりの「ヒント」をもち帰る。
いちょうカレッジがめざすのは、頼れるまちづくりのプラットフォームです。
開かれた市民大学として、「学んだことを地域で活かす」をテーマに、
学びと実践の循環を実現し、魅力的なまちづくりをサポートしていきます。

「やってみたい」が見つかる、講座・グループワーク・まち歩き体験などをはじめ
とした、入門科、プレ本科、本科、専科の4種類のコースからなる、体系的かつ
多彩なカリキュラムで、あなたの学びたい気持ちを応援します。

も く じ



まちづくりの第一歩。まずは参加してみたい方へ

大阪を語ろう～好きやねん大阪～コース	4
未来に向けての第一歩コース ～こんな社会になったらいいなを考えてみよう～	5



これから地域と関わってみたい方へ

まちにサンカク!「つくる・つたえる・つながる」コース	6
大阪の魅力発見コース	7



学んだことを地域で活かすためのコース

まちにサンカク!「つくる・つたえる・つながる」コース	8
大阪の魅力発信コース	12
本科特別コース まちづくりのアクションプラン実践コース	16



地域活動に役立つ知識や技術にみがきをかける

いのちを守る防災コース	18
こどもと地域社会コース	19
市民活動団体立ち上げ入門コース ～活動を始めるための仲間づくり・活動資金づくりを学ぼう!～	20
SNSで情報発信コース	21
地域と人をつなぐ場を学ぶ シェアスペース・レンタルスペース活用コース	22
まちと関わるきっかけ作りコース 大正区編	23
受講実績・アンケート結果	24
次年度のいちようカレッジ・お問い合わせ	26



入門科①

大阪を語ろう～好きやねん大阪～コース

参加者それぞれの大阪の魅力・思い出を気軽におしゃべりしながら共有し、
これまで知らなかった大阪の魅力を講師と共に発見しました。

日 時 6/4～6/11 毎週火曜日 14:00～16:00 全2回

参加者数 33名(のべ54名) 会 場 総合生涯学習センター

1 6 / 4

様々な”モノ”から見る大阪の歴史と魅力

絵ハガキなどの資料を元に、大阪の名所・土地・建築などにまつわるエピソードを紹介し、受講者同士グループに分かれて資料を元に話し合いました

2 6 / 11

大阪の思い出話をしませんか？

昔の写真アルバムや絵ハガキ、古地図や雑誌・新聞の切り抜きなど、
大阪にまつわる品を持ち寄りエピソードや思い出を語り合いました

陸奥 賢

観光家/
コモンズ・デザイナー/
社会実験者



講師所蔵の絵ハガキの解説(第1回)



絵ハガキを実際に手にとって(第1回)



持ち寄った思い出の品々を紹介(第2回)

受講者の声 (アンケートより)

- 大阪の歴史、昔話をたくさん聞くことができ、とても勉強になりました。
- グループ毎に色々な魅力のある資料を持ち寄って話ができて、有意義な時間でした。
- 生まれ育った大阪についてもっと知りたいと思いました。ますます大阪が大好きになりました。



入門科②

未来に向けての第一歩コース ～こんな社会になったらいいなを考えてみよう～

社会課題の解決に取り組むゲストの事例紹介等からヒントを得て、
受講者各自が「いいなと思う社会に近づくための第一歩を考えました。」

日時 6/6～6/20 毎週木曜日 19:00～21:00 全3回

参加者数 20名(のべ49名) **会場** 総合生涯学習センター

1

6/6

社会課題解決のプロと一緒に未来を考えよう

SDGsの視点から、自分がいいなと思う社会がどのようなものか考える

中川 悠

NPO法人チュラキューブ代表理事/
株式会社GIVE&GIFT代表取締役/
大阪国際工科専門職大学 情報工学科 准教授

2

6/13

社会課題解決のプロに話を聞いてみよう

社会課題に取り組む方をゲストに迎え、事例をもとにヒントを得る
学んだヒントをもとに、自分がいいなと思う社会に近づくための
第一歩を考える

中川 悠

【ゲスト講師】
織田 智子
(認定NPO法人ブル・ボランティア事務局長)

福住 文子
(一般社団法人HOMEステーション代表理事)

町矢 真美
(一般社団法人ひらく代表)

3

6/20

みんなの「わたしアクション」

第2回で考えたことの実現に向けて、自身ができる第一歩を
「わたしアクション」として受講者全員で共有する

中川 悠



どのような社会課題に興味があるか考える(第1回)



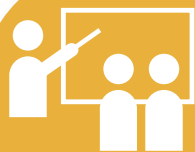
ゲストの事例紹介からヒントを得る(第2回)



インタビュー形式で
わたしアクションを発表(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- いろいろな人の話がきけたこと。自分に何ができるのか考えるきっかけをいただきました。
- 自分がやっている事と社会をつなげていく事がなかなかうまくつながらずにいましたが少し見えてきました。わかりやすく取り組みやすかったです。
- 学びが沢山あり、豊かな気持ちでいっぱいです。



プレ本科①

まちにサンカク!「つくる・つたえる・つながる」コース

手を動かしてつくり、想いや考えをつたえることで、自らを表現しながらまちに参画していく手法や技術についてワークショップで体感しながら学びました。

日 時 8/2～8/30 毎週金曜日 19:00～21:00 全5回
※講師都合により8/16を9/13に振替

参加者数 18名(のべ59名) **会 場** 総合生涯学習センター

1 8/2

「つくる・つたえる・つながる」オンガク編

即興で音楽をつくるプロセスを通じて「つくる・つたえる・つながる」の世界を体験する

2 8/9

「つくる・つたえる・つながる」シャシン編

スナップ写真からオリジナルストーリーをつくることで、日常の中にある「つくる・つたえる・つながる」のヒントを探る

3 8/23

「つくる・つたえる・つながる」エンゲキ編

即興演劇を作る体験から、自分や他の人の特性を読み解き、組み合わせて活かす手法について

4 8/30

「つくる・つたえる・つながる」ファッション編

それぞれの内面にあるものを言語化し、服というカタチにして表現する手法について

5 9/13

「つくる・つたえる・つながる」アート編

既存の物を組み合わせて立体作品を制作し、そこに込めた想いや考えを共有することで、「つくる・つたえる・つながる」を体感する

山本 あつし
名古屋学芸大学
メディア造形学部
デザイン学科 准教授/
事業プロデューサー



共通点を見つけてオリジナルの曲作り(第1回)



写真からストーリーを考える(第2回)



想いを身に着けてファッションショー(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 楽しかったです。「子どもの時にこの講座を体験したかったな」とも思いました。
- 人それぞれの発想がおもしろかったです。
- 自分の気持ちを上手に伝えていきたいと思いました。



大阪の魅力発見コース

新たなまちの魅力を発見するための講師の様々なお話や、ワークショップ、
前年度修了者のガイドによるまち歩き体験を通じて、大阪の魅力のを見つけ方を学びました。

日 時 8/27～9/24 毎週火曜日 14:00～16:00 全5回
参加者数 30名(のべ143名) 会 場 総合生涯学習センター

1	8/27	オリエンテーション/まちの魅力を発見するポイント プレ本科コースと本科コースとの関係性の説明、 まちの魅力を発見するポイントの解説	陸奥 賢 観光家/コモンズ・デザイナー/ 社会実験者
2	9/3	見慣れたものから魅力を見つける、伝える！ 書籍編集者の仕事の紹介、キャッチコピーを考えるワークショップ	小野 紗也香 書籍編集者
3	9/10	割烹女将が自転車タクシー観光！？ 堺の歴史、文化そして人を繋ぐ自転車タクシーの魅力と活動紹介	中上 愛 堺東「割烹秀」3代目女将/ 自転車タクシー チクロヴォーチェ代表/ 女将さろんごみ主宰
4	9/17	歩いて発見！まちの魅力を探しに行こう まち歩き 昨年度本科修了者のガイドによるまち歩き体験	陸奥 賢 【ガイド】 令和5年度 いちようカレッジ修了者
5	9/24	まち歩きスゴロクを体験してみよう 各回の振り返りとまち歩きスゴロクの体験	陸奥 賢



キャッチコピーを考えるワークショップ(第2回)



自転車タクシーの紹介(第3回)



修了者のガイドでまち歩き(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 興味深い活動をいろいろな方々がされていると知れて良かったです。
- 受講者の皆さんとの話し合いができて楽しかったです。
- 毎回いろいろな分野の方が来られ、いろんな情報を得る事ができました。

本科 まちにサンカク!「つくる・つたえる・つながる」コース

主任講師からのメッセージ

作る、造る、創る。

私たちの祖先は、目の前に立ちほだかる困難にただひれ伏すのではなく、便利な道具や方法、あるいは新たな可能性を「つくる」ことによって未来を切り拓いてきました。そしていま、私たちはここにいます。いつの時代も「つくる」とは、何かに作用し変化をもたらす行為だったのではないか。そんなふうに思います。

では、なぜ人は「つくる」のか?それはもしかすると、「つたえる」ためだったのかもしれません。あつちに敵がいる、こっちに美味しいものがある、あなたのことが好きだ、仲間になりたい。「つくる」ことでそんな状況や感情をカタチにし、相手に「つたえる」ことができる。そんなふうにして他者と「つながる」ことを実現し、人は社会を育ててきたのではないのでしょうか。

今年度の講座テーマは「つくる・つたえる・つながる」。自ら手を動かしてつくり、想いや考えをつたえることで、「人と人」、「人とまち」がつながっていく。そんな体験を通して、まちに「参画」していく技術や手法を学ぶ機会にしたいと考えたのでした。

全5回のプレ本科では、ウォーミングアップとして毎回即興で曲や物語、演劇、服、アート作品を制作するワークショップを行いました。時にはグループになって制作過程を共有し、できあがったものについて発表しあうことでお互いを理解しあい、受講者どうしのつながりを生み出すことを試みました。

また本科では、自分を表現することでつながりを生み出すメディア(媒体)としての屋台「メディ屋台」を一人一台ずつ制作しました。屋台で何をして、どんなつながりを生み出すのか?それぞれがーから企画を立て、図面を描き、ダンボールなど身近にある素材を使った手づくりの屋台を、大阪市立生涯学習センターの総合フェスタに出店。当日は、駄菓子で茶の湯を愉しむ屋台、レトロファッションや雑貨を愛でる屋台、勉強中の占いを実践してみる屋台、大好きな「たらこ料理」のレシピをシェアする屋台など、ちょっと風変わりな10台の屋台が並び、あちこちで談笑する声と共にあたたかなつながりが生まれていることを実感できました。

あらゆる技術やサービスが充実していく一方で、「コスパ」や「タイパ」が重視される風潮の中、私たちは「つくる」ことを誰かに任せるあまり、「つたえる」「つながる」ことを疎かにしていないのでしょうか。「つくる・つたえる・つながる」こと、それはまさに生きる力そのもの。世界のあちこちで格差が広がり、対立が続くいまだからこそ、その力の大切さを改めて感じます。

2022年度から3年間、いちょうカレッジで講座を担当させていただいたことを幸せに感じます。受講者の皆さま、スタッフの皆さま、有難うございました。



主任講師
山本 あつし



本科①

まちにサンカク! 「つくる・つたえる・つながる」コース

手を動かしてつくり、想いや考えをつたえることで、自らを表現しながらまちに参画していく手法や技術について学びました。本科コースでは「人・物・事・場所」や「社会」とつながるためのメディア装置としての屋台「メディ屋台」の制作から出展に挑戦しました。

日 時 9/27~12/13 毎週金曜日 19:00~21:00 全12回

参加者数 12名(のべ118名) 会 場 総合生涯学習センター

1	9/27	オリエンテーションと自己紹介 受講者同士、お互いを知るための自己紹介、講座の受講動機について	山本 あつし 名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 准教授 / 事業プロデューサー
2	10/4	で、「メディ屋台」ってなあに? 屋台の歴史やいくつかの事例から屋台について知り、メディア装置としての屋台について考える	
3	10/11	実践者にいろいろ聞いてみよう 屋台活動の実践者をゲストに招き、話を伺う	山本 あつし 【ゲスト講師】 今村 謙人 カモメ・ラボ代表/ 合同会社ルツボ代表社員/ 橋ノ上ノ屋台共同店主
4	10/18	「メディ屋台」で何を表現する? それぞれのできること、やりたいことを手掛かりに、メディ屋台で何を伝えるのかを対話しながら構想を練る	山本 あつし
5	10/25	「メディ屋台」で何とつながる? メディ屋台をつくることでどんなつながりを生み出せるのか、対話しながら更に構想を練る	
6	11/1	「メディ屋台」を設計しよう 頭のなかにあるメディ屋台のイメージをまずは絵にして、図面にする	
7	11/8	「メディ屋台」の制作 ダンボールなど色々な材料を使って、実際にメディ屋台をつくる	
8	11/15	※「メディ屋台」をお披露目しよう(準備)【11/22】	
9	11/23	「メディ屋台」をお披露目しよう 1年に1度のセンターの文化祭「総合フェスタ」で、メディ屋台をお披露目する	
10	11/29	発表会	
11	12/6	メディ屋台の構想から制作、そして実践を通して得た気づきをみんなで共有する	
12	12/13	ふりかえり 本科での学びをみんなでふりかえる	

受講者の声 (アンケートより)

- 回を増すごとに楽しくなってきました。日ごろ使っていない脳の部分を使うという目的が達成されました。
- いつもいつも感動しています。背中をそっと押して頂き、気づきや発見があります。
- 普段の自分だと選ばないことにチャレンジできてよかった。

講座風景



最終発表

班に分かれて気になるまちを取材し、まちの魅力や見どころを詰め込んだ文化祭「総合フェスタ」で「まち歩きスゴロク」を作成し、それぞれのコースでまち歩きを行いました。



本科 大阪の魅力発信コース

主任講師からのメッセージ

今年の大阪の魅力発信コースは2コースのまち歩きフォトスゴロクが完成しました。「大正区・三軒家・泉尾エリア」と「港区・天保山・築港エリア」です。毎年、いろんなエリアが選ばれるのですが、今年は、なぜか大阪湾、海に近い港町エリアが選ばれました。

大正区は大阪の港町の中でも、沖縄との交流の歴史などがあり、非常に特色あるまちといえます。とくに平尾エリア界限(サンクス平尾商店街)に沖縄料理の店や沖縄の物産店などがあったりするのですが、今回のまち歩きは大正駅近くの三軒家・泉尾界限だったので、どちらかというと近代以前の大正区が中心的に取り上げられました。具体的には船番所の跡地や安政大地震の記念碑などです。

とくにまち歩きツアーのさいに、みなさんが足をとめて印象的だったのは八坂神社の「中村勘助源義久彰徳碑」でしょうか。中村勘助こと木津勘助は伝説的な義侠の人ですが、江戸時代、戦前は大阪庶民のヒーローとして大人気でした。その勘助が流されたのが勘助島で現在の大正区・三軒家エリアあたりということになるのですが、そのゆかりの場所ということで八坂神社に巨大な顕彰碑があります。見物(みもの)ですので、ぜひとも足を運んでみてください。

港区・天保山・築港エリアのまち歩きフォトスゴロクで特筆すべきポイントは水上消防署を取り上げたことでしょう。これは実際のまち歩きツアーのさいにも見学に訪れて、水上消防署の担当者の方にいろいろとお話をお聞きすることが出来ました。「海上保安庁などは海での活動が多いので愛称として『海猿』と呼ぶが大阪の水上消防署は川での活動が多いので『川猿』と呼ばれている」「年間120回ほど川の事故などで出動している」「大川は濁っていて特に夏場は視界が悪く隊員同士の意思疎通にはロープなどで合図を送る」といった大変、貴重でリアルな体験談でした。水上消防署のみなさんには厚く御礼を申し上げたいところです。

充実したまち歩きフォトスゴロクかつツアーで、講師としては何もいう不平不満はないのですが、少し例年に比べて受講者が少ないのがもったいなかったように思います。例年であれば3コース、4コースとまち歩きチームが結成されるのですが今年は2チームでした。受講の申し込みは水物で年度によって変動あるものですが来年度はもう少し受講者が増えてほしいと思っています。というわけで、みなさんの受講申し込み、ご参加を心よりお待ちしております(笑)



主任講師
陸奥 賢



本科②

大阪の魅力発信コース

まちの魅力を発信するための講座・グループワークや、まち歩き体験・まち歩きガイドの実践を通して、大阪の人とまちの魅力を伝えるエディターを育みました。

日 時 10/22～2/25 毎週火曜日 14:00～16:00 全15回

参加者数 11名(のべ109名) 会 場 総合生涯学習センター

1	10/22	オリエンテーション/自己紹介とまち紹介 カリキュラムの説明、受講者同士の自己紹介/過去のまち歩きスゴロクの紹介	陸奥 賢 観光家/コモンズ・デザイナー/ 社会実務者
2	10/29	まちの魅力を伝える方法/まち歩きに出かけよう① まち歩き 新旧観光マップを見比べて総合生涯学習センター周辺を解説/主任講師によるガイドでまち歩き(総合生涯学習センター周辺)	陸奥 賢
3	11 / 5	堺東商店街のまちづくりに学ぶ 商店街におけるまちづくりの取り組みについて解説	矢本 憲久 堺東駅前商店街振興組合理事長/ 堺市商店連合会副会長/ 大阪府商店街振興組合連合会 理事・青年部副部長
4	11 / 12	まちの隙間を見つけてくつろぐ流しのこたつ いつもと異なるまちの見え方について解説/屋外でこたつに入るワークショップ	奥井 希、梅田 郁美 流しのこたつ
5	11 / 19	まちの情報を誰かに伝える からほりごはんの事例紹介、情報を伝える手段について解説	ワタナベ ナオミ からほりごはんのなかのひと
6	11 / 26	まち歩きスゴロクについて/まち歩きガイドのコツ ゲスト講師回の振り返りとまち歩きガイドのコツ・ポイントの解説	陸奥 賢
7	12 / 3	【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作① グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	
8	12 / 10	【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作② グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	
9	12 / 17	【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作③ グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	
10	1 / 14	【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作④(完成) グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作	
11	1 / 21	まち歩きに出かけよう② まち歩き 主任講師によるガイドでまち歩き(日本橋を巡る)	
12	1 / 28	【最終発表】チャレンジ!まち歩きガイドの実践 まち歩き 各グループが作成したまち歩きスゴロクを使って、現地でまち歩きガイドに挑戦	
13	2 / 4	まち歩きに出かけよう③ まち歩き 主任講師によるガイドでまち歩き(茶臼山を巡る)	
14	2 / 18	【最終発表】チャレンジ!まち歩きガイドの実践 まち歩き 各グループが作成したまち歩きスゴロクを使って、現地でまち歩きガイドに挑戦	
15	2 / 25	全体振り返り・まとめ 完成したまち歩きスゴロクを眺め、各班のガイドで印象に残ったポイントを共有	

講座風景

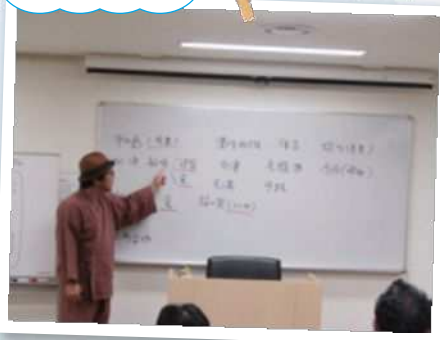
オリエンテーション



ゲスト講師による講義



エリア決め



まち歩きスゴロク制作風景



主任講師によるまち歩き



最終発表

班に分かれて気になるまちを取材し、まちの魅力や見どころを詰め込んだ「まち歩きスガロク」を作成し、それぞれのコースでまち歩きを行いました。

1 班



「大正 三軒家」



2 班



「大阪近代港湾
発祥の地 築港」



受講者の声 (アンケートより)

- 15回もあったとは思えないほど楽しすぎて、あっという間に感じました。
- まち歩きをして、たくさんの方に気づかせてくれました。
- 企画そのものが大変良い。「魅力発信」の名にふさわしい。

本科特別コース

まちづくりのアクションプラン実践コース

主任講師からのメッセージ

今年は、まちづくりの概念や方法論をより踏み込んだ形として、「事業計画書の作成」をゴールとしたカリキュラムを作らせていただきました。集まった参加者の方は、実際にまちづくりでやりたいと思っていることがあるけれど、その実現に向けての壁打ちをして欲しい人から、まだ具体的にやりたいことは見つかっていないけれど、何をどこからどのように手をつけたらいいのかの整理のために参加された方までと、幅広く集まっていた印象です。

1回目の講座は、参加者の方との交流を大事にしたアイスブレイクも含めた内容にしました。私にとっては参加者の方の属性や想いを確認する時間でもありますし、何より2回目以降に用意しているカリキュラムの内容が、参加者全員に響く内容になっているのかを再確認する時間でもあり、毎回ドキドキですが、ワクワクしています(笑)

今回の1回目は自己理解のための自己分析と他者分析をいれさせていただきました。すでに事業を計画されている方は、自分のやりたいこと、自分の特徴、強み弱みを理解されていることと思いますが再確認し、自分のブランディングに役立てていただくために。一方で、まだ頭の中で自己理解についても整理できていない方は、多面評価などの視点も取り入れた手法による自己分析の理解を深めていただく内容としました。以降は、それを基軸とし、事業テーマ決め、事業計画をつくり、最終プレゼン、最後はこの講座の恒例である、梅田～中津のエリアを歩いてフィールドワークで締めくくるというカリキュラムでした。途中、1回が台風で休講になってしまったので、駆け足で進めた部分もありましたが、アンケート結果では、満足していただいた方も多く、「実際の活動に役立つ内容か」、「講座で学んだ内容をボランティアやグループ活動に活かしたいと思ったか」の質問について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答してくださった方が多かったので安心しました。

最後に、まちづくりは、人々の関係性や協力を深め、共に成長する場であると考えます。そのため、「まちづくりの種」をこのセンターから広げ、まちの未来を創造していく一助を担いたいと思っています。来年は、持続可能なまちづくりについて皆さんと考え、今の課題を整理しながら、この講座内だけで完結させようとせず、梅田や関西一円にある共創の場や実践できる場へとおつなぎしていきたいと考えています



主任講師
山田 摩利子



本科③

本科特別コース まちづくりのアクションプラン実践コース

まちづくり事業を企画する際の、分析力・企画力・計画力のスキルを身につけ、実践につなげていきました。

日 時 8/3～9/28 隔週土曜日 10:00～12:00 全5回
※第3回は台風接近のため中止

参加者数 15名(のべ50名) 会 場 総合生涯学習センター

1 8/3

まちの課題を話し合い、活動テーマを決めよう 活動テーマを分析しよう

受講者それぞれの活動テーマ(子ども・高齢者・防災・福祉など)を決め、事業計画を立てる

山田 摩利子

一般社団法人うめらく代表理事/
株式会社ippo代表取締役/
インキュベーター

【ゲスト講師】

小林まき子

ブランディングディレクター/
キャリアアドバイザー

2 8/17

企画書を作成して中間発表をしよう

それぞれの活動テーマについての企画書を作成し、中間発表をする
状況分析を踏まえた企画ができているか、具体的な施策まで考えられているか、中長期的な計画性があるかなど、講師からのフィードバックをもらいながら、企画をブラッシュアップさせていく

3 8/31 中止

4 9/14

最終発表をしよう

中間発表後にブラッシュアップさせた企画の最終発表をする
企画の実行性があるかどうかを検討し、講座終了後に企画を実践できるようにする

山田 摩利子

5 9/28

まちびらきをした「うめきた地区」を見学しよう

2024年9月に先行まちびらきをむかえた「うめきた地区」を見学して、
企画したまちづくりのアクションプランを実践するイメージをふくらませる

※台風接近により第3回が中止となった為、全4回に改編して実施した。



まちの課題を話し合い、活動テーマを決めよう
/活動テーマを分析しよう(第1回)



最終発表をしよう(第4回)



まちびらきをした「うめきた地区」
を見学しよう(第5回)

受講者の声 (アンケートより)

- まちづくり、事業計画づくりを短い時間で体系的に学べてとても良かったです。
- まちの現状や具体的な事例を聞くことができ、問題解決に近づく道筋は見つけられるのだと思いました。
- 他の受講者の方の挑戦をいろいろと聞くことができ、アドバイスもいただけてとても良かったです。



いのちを守る防災コース

災害時における様々な立場の人への支援方法や、避難所の運営や備えまで、防災・減災に必要な考え方を様々なテーマで学びました。

日 時 8/3～8/31 毎週土曜日 14:00～16:00 全4回
※台風接近により8/31を9/7に延期

参加者数 29名(のべ95名)

会 場 総合生涯学習センター

1 8 / 3

大阪防災メソッド -もし今災害が起こったら-
地震についての解説や、備え、避難の考え方、
大阪防災アプリの活用について

多田 裕亮
大阪防災企画 代表/
防災士

2 8 / 17

誰ひとり取り残さないために -要配慮者への支援を考える-
要配慮者の方々が抱える課題や個別避難計画についての解説

野村 恭代
大阪公立大学 都市科学・
防災研究センター教授

3 8 / 24

**「ひとつひとつのいのちを大切に」
避難所運営の考え方**
講師の避難所運営の経験をもとに具体的な現場の状況や
運営についての解説

山根 一毅
大阪YMCA部長/ユース事業部責任者/
グローバル事業グループ長

4 9 / 7

みんなで助かるための避難生活を考えよう
能登半島地震における被害状況について説明、
避難所運営シミュレーションの体験

湯井 恵美子
一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
理事兼上級コーチ/
防災士



要配慮者について考えるワークショップ(第2回)



実際の避難所の事例紹介(第3回)



避難所運営シミュレーションの体験(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 具体的でわかりやすかった。学びがたくさんあり、地震を身近に感じることができた。
- 自分だけでなく、まわりの人とのつながりが大切と感じました。
- 心の底からためになりました！

オンライン 特別配信

いのちを守る防災「大阪防災メソッド ～もし今災害が起こったら～」

配信期間 8/24(土)～10/1(火) **参加者数** 13名



こどもと地域社会コース

子どもたちを取り巻く状況や生活について学び、地域住民として地域の子どもたちと、どのように関わる事ができるか、一緒に考えました。

日 時 11/13～12/11 毎週水曜日 10:00～12:00 全5回

参加者数 36名(のべ117名) 会 場 総合生涯学習センター

1 11/13

子どもたちを取り巻く状況と、地域社会の関わりについて
現在の子どもたちを取り巻く状況や生活について知り、子どもたちに対する地域社会の関わりや役割について考える

山野 則子
大阪公立大学大学院
現代システム科学研究科 教授

2 11/20

学校と地域ではぐくむ子どもの未来
学校と地域が協力して子どもたちの学びや成長を支える活動について紹介し、ワークショップを通して意見交換をする

大谷 裕美子
文科省CSマイスター/
ゆめ☆まなびネット 代表

3 11/27

10代の子どもたちの現状と支援
地域で取り組まれている学習支援や子ども食堂、居場所づくりの活動事例を通して、10代の子どもたちの現状と支援について学ぶ

福住 文子
一般社団法人HOMEステーション
代表理事

4 12/ 4

赤ちゃん親子の居場所づくり
現在の子育てを取り巻く状況や、地域子育て支援拠点の役割、地域と連携した子育て支援活動、地域住民の子育て支援への関わりについて、事例を通して一緒に考える

笠井 あゆみ
一般社団法人あおぞら湯
代表理事
あおぞら湯スタッフ
のみなさん

5 12/11

地域の子どもたちとの関わり方や接し方について
地域住民として地域の子どもたちと、どのように関わる事ができるのかを考え、実際に地域で子どもたちと関わる際の接し方について学ぶ

佐野 岳章
ひと結び 代表/
千里金蘭大学 教育学部
非常勤講師



子どもたちを取り巻く状況と、地域社会の関わりについて(第1回)



学校と地域ではぐくむ子どもの未来(第2回)



赤ちゃん親子の居場所づくり(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- 実際に活動されている方の具体的な話を聞けてとても参考、かつ学びや気づきをいただきました。自分の地域の関わりと支援について改めて大事なことを気づけました。
- その現場その現場での生の声が聞けた。いろいろなやり方、考え方が学べた。
- 得たことを実践に移して展開したい。



市民活動団体立ち上げ入門 コース

～活動を始めるための仲間づくり・活動資金づくりを学ぼう～

地域で活動する様々な市民グループ・団体の立ち上げ方や、活動の継続に欠かせない仲間づくりや活動資金集めのコツを学びました。

日 時 11/28～12/12 毎週木曜日 19:00～21:00 全3回
参加者数 25名(のべ58名) 会 場 総合生涯学習センター

1 11/28

ボランティアって？NPOって？ はじめての市民活動

ボランティアやNPO、社団法人などのそれぞれの違いを学び、
自身にあった活動・団体のあり方について考える

2 12/5

共感を得られる団体へ！ 仲間・支援者集めのポイントを知ろう

活動を発展させていくために必要不可欠な、一緒に活動する
仲間や支援者を増やすために大切なポイントについて学ぶ

3 12/12

活動をステップアップさせるために 知っておきたい資金調達のこと

理想の活動に近づくために大切な資金集めについて、
助成金申請や寄付の獲得を中心に学ぶ

岡本 卓也

有限責任事業組合
まちとしごと総合研究所
レジリエンス・シンカー /
東山いきいき市民活動センター
センター長



団体のビジョンや目的を考える(第1回)



グループで広報戦略の話し合い(第2回)



自身にあった資金調達プログラムを考える(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- 交流で他の人から刺激を受けることができました。自分では勉強できないことも
知ることができて良かったです。
- 自分の知識の再確認ができ、さらに新しい知識が追加できた。
- 具体的な内容を体系的に解説してくれ、満足度が上がりました。



SNSで情報発信コース

たくさんあるSNSのそれぞれの特徴・選び方や、利用する上で気をつけるポイントと、SNSの投稿に役立つショート動画の作成方法や、基本的な投稿方法を学びました。

日時 1/22～2/5 毎週水曜日 19:00～21:00 全3回

参加者数 19名(のべ53名) 会場 総合生涯学習センター

1 1/22

SNSを活用した広報について

広報にSNSを使うメリットや、それぞれのSNSの違い・特徴・選び方、SNSを使う上で知っておきたい注意事項などについて学ぶ

ミナミ シゲユキ

プロダクション レキシブ代表
動画クリエイター/セミナー講師

2 1/29

スマホでショート動画を作ってみよう

10数秒程度のショート動画の作成(撮影・編集)にチャレンジする

3 2/5

SNSへの基本的な投稿方法について

SNSへの投稿方法として、インスタグラムを例に学ぶ
基本の投稿方法(フィード・ストーリーズ・リール)や、ハッシュタグの
つけ方・使い方、キャプションを見やすくするコツ、ダイレクトメッ
セージの活用などについて学ぶ

北 優太

株式会社まさゆめ企画
WEBアドバイザー



SNSを活用した広報について(第1回)



スマホでショート動画を作ってみよう(第2回)



SNSへの基本的な投稿方法について(第3回)

受講者の声 (アンケートより)

- SNSの種類と内容が理解できた。
- 動画の編集をやってみたかったので楽しくできました。
- 知りたかったこと、ためになることが多くてしっかり学びました。



地域と人をつなぐ場を学ぶ シェアスペース・レンタルスペース活用コース

地域と人をつなぐ場としてシェアスペース・レンタルスペースをどのように使えばいいのか、また実施にシェア・レンタルスペースの見学もして活用方法を学びました。

日 時 10/5～10/26 毎週土曜日 14:00～16:00 全4回
参加者数 14名(のべ41名) 会 場 阿倍野市民学習センター

1 10/5

ガイダンス・スペースの活用事例に学ぶ その1

実際にシェア・レンタルスペースを活用・運用している方に
来ていただきノウハウを学ぶ

平川 隆啓
地域コーディネーター
【ゲスト講師】
吉浜 育江
レガサルト株式会社
広報担当

2 10/12

スペースの活用事例に学ぶ その2

実際にシェア・レンタルスペースを活用・運用している方に
来ていただきノウハウを学ぶ

平川 隆啓
【ゲスト講師】
松下 美沙子
とりまデザイン

3 10/19

シェア・レンタルスペースってどんなところ？

文の里商店街にあるシェア・レンタルスペースの見学

平川 隆啓

4 10/26

振り返り・あなたのやりたいことは？

あなたのやってみたいこと、やりたいことの発表



活用事例に学ぶ その1



活用事例に学ぶ その2



シェア・レンタルスペースの見学

受講者の声 (アンケートより)

- 実際に活動されている方たちの話がとても興味深かった。
- 現在の活動に活かしたいと思います。
- 地域活性化での問答がとても実践的でためになりました。



まちと関わるきっかけ作りコース 大正区編

まち歩き体験や、現場の声を聞く講座を通じて、知らなかったまちの魅力再発見と、まちと関わるきっかけ作りを学びました。

日 時 11/2～11/30 毎週土曜日(11/23を除く) 10:00～12:00 全4回

参加者数 14名(のべ38名) **会 場** 難波市民学習センター

1 11 / 2

まちを学んで、興味を湧かせる

まちと関わって起こった問題や課題について話し合い、大喜利で課題を解決してみる

藤田 ツキト

株式会社シカトキノコ 代表取締役
クリエイティブディレクター
近畿大学 文芸学部
文化デザイン学科 非常勤講師

2 11 / 9

まちを知って、関わりを持つ

大正区で不動産業をしながら、人やまちとのつながりづくりを仕掛ける楠原陽子さんの話を聞く

藤田 ツキト

【ゲスト講師】
楠原 陽子
昭和山不動産株式会社 代表取締役/
株式会社WATATSUMI 代表取締役

3 11 / 16

まちを歩いて、関わりを深める

大正駅から区の名所、昭和山まで約5kmを歩き、古きよき商店街や空家リノベーション事例、大正区ならではの魅力を体感する

藤田 ツキト

4 11 / 30

まちを伝えて、自分ごと化する

まち歩きの振り返り作業として、チームに分かれて大正区の地図を模造紙に描き、現地で見聞きしたことや感想を付箋に書き出し共有する



まちの課題を大喜利で解決!?(第1回)



大正区内まちあるき (第3回)



大正区マップづくり(第4回)

受講者の声 (アンケートより)

- まち歩きを楽しむヒントを多く学べた。
- 大正区の新しい流れの動向や店舗を知ることができて良かったです。
- さんぽ日和とかマルシェの話が興味深かったです。

【令和6年度 いちょうカレッジ アンケート集計結果】

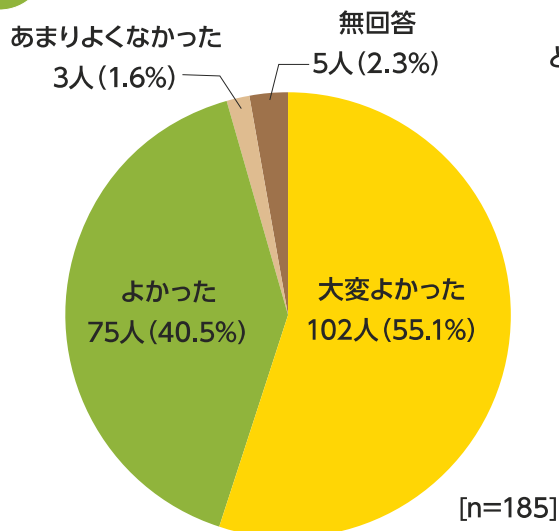
いちょうカレッジ受講実績

	コース名	定 員	応募者数	受講者数	のべ受講者数
入門科	大阪を語ろう ～好きやねん大阪～コース	35人	36人	33人	54人
	未来に向けての第一歩コース ～こんな社会になったらいいなを考えてみよう～	30人	25人	20人	49人
プレ本科	まちにサンカク! 「つくる・つたえる・つながる」コース	30人	19人	18人	59人
	大阪の魅力発信コース	30人	58人	30人	143人
本 科	まちにサンカク! 「つくる・つたえる・つながる」コース	24人	11人	11人	109人
	大阪の魅力発信コース	20人	14人	12人	118人
	【本科特別コース】まちづくりの アクションプラン実践コース	20人	21人	15人	50人
専 科	いのちを守る防災コース	30人	46人	29人	95人
	こどもと地域社会コース	30人	43人	36人	117人
	市民活動団体立ち上げ入門コース ～活動を始めるための仲間づくり・活動資金づくりを学ぼう!～	30人	32人	25人	58人
	SNSで情報発信コース	20人	68人	19人	53人
	地域と人をつなぐ場を学ぶ シェアスペース・レンタルスペース活用コース	20人	20人	14人	38人
	まちと関わるきっかけ作りコース ～大正区編～	20人	16人	14人	41人
合 計		339人	409人	276人	984人

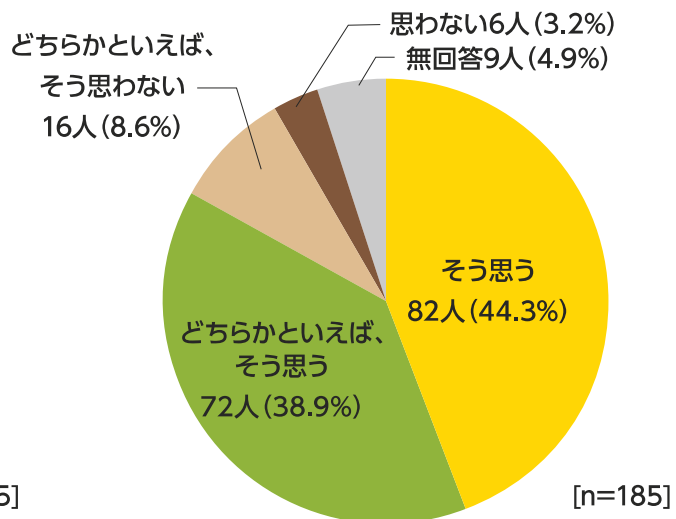
オンライン
特別配信

講座・イベント名	申込	参加
いのちを守る防災「大阪防災メソッド ～もし今災害が起こったら～	13人	13人

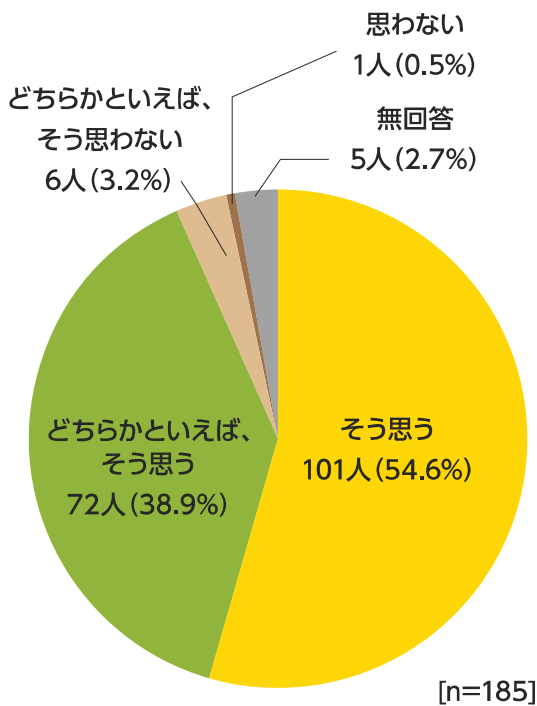
Q 講座の満足度はいかがでしたか？



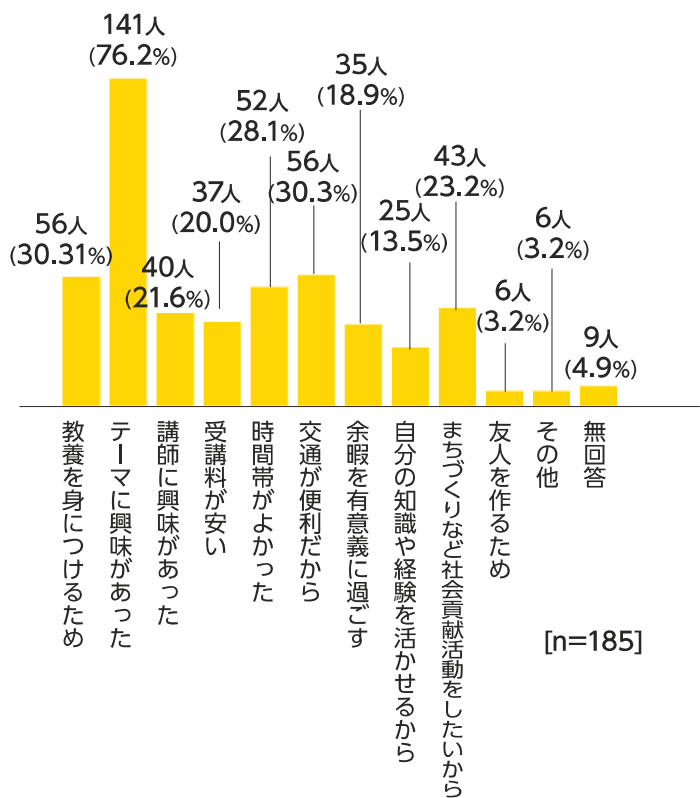
Q この講座で学んだことを活かして、ボランティア活動やグループ活動に関わりたいと思いますか？



Q この講座を通して学んだ内容や関係するテーマなどについて、引き続き学習を続けたいと思いますか？



Q 受講動機はなんですか？



令和7年度 いちようカレッジの募集について

令和7年度のいちようカレッジのご案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、
大阪市内の市民学習センター・区役所・区民情報センター・図書館等で
配架予定の総合パンフレット・各コースの個別チラシをご覧ください。



いちようカレッジ ホームページ

<https://osakademanabu.com/college>



いちようカレッジ Facebook ページ

<https://www.facebook.com/icho.college.OSAKACITY>



お問い合わせ



大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和6年度 大阪市生涯学習まちづくり市民大学
「いちょうカレッジ」報告書

編集・発行 大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)
大阪市北区梅田1-2-2-500

発 行 日 令和7年3月



いちょう
カレヅジ
OSAKA CITY

● 主催 ●

大阪市立総合生涯学習センター
(指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)